



延岡市スーパーシティ構想に関する 市民説明会

延岡市 2021年10月

延岡市 市民説明会資料

スーパーシティ特別区域認定に向けた取組み

延岡市 2021年10月

検討体制・協力事業者

(敬称略)

令和3年4月時点

運営委員会

- ・ 国への応募に係る事項
- ・ 総会に諮る事項の調整
- ・ その他重要事項

■リードアーキテクト（総括）

延岡市 市長 読谷山 洋司

■キーアーキテクト（全体統括）

東京大学大学院情報理工学系研究科 研究科長・教授 須田 礼仁

■アーキテクト

東京大学大学院情報学環 特任教授 片田 敏孝

東京学芸大学 教育インキュベーションセンター 教授 金子 嘉宏

宮崎大学 副学長 明石 良

国立循環器病研究センター 予防医学・疫学情報部 部長 西村 邦宏

慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 教授 山形 与志樹

株式会社リクルート フェロー 大久保 幸夫

SBI生命保険株式会社 代表取締役社長 小野 尚

陰山ラボ 代表 陰山 英男

旭化成株式会社 常務執行役員 エグゼクティブフェロー 久世 和資

旭化成陸上競技部 顧問 宗 茂

総会

- ・ 運営委員会で決めた内容の協議・意見

■地域団体組織

- ・ 延岡商工会議所
- ・ 学校法人順正学園九州保健福祉大学
- ・ 社会福祉法人延岡市社会福祉協議会
- ・ 延岡市区長連絡協議会
- ・ 延岡市公民館連絡協議会
- ・ 延岡市民生委員児童委員協議会
- ・ 延岡市さんさんクラブ連合会
- ・ のべおか男女共同参画会議21
- ・ 一般社団法人延岡市医師会
- ・ 一般社団法人延岡市歯科医師会
- ・ 一般社団法人延岡市西臼杵薬剤師会
- ・ 一般社団法人延岡観光協会
- ・ 延岡農業協同組合
- ・ 延岡市水産振興委員会
- ・ 延岡市PTA連絡協議会
- ・ 延岡鉄工団地協同組合
- ・ クレアセブン会
- ・ 協同組合延岡卸商業センター
- ・ 一般社団法人宮崎県工業会
- ・ 延岡市商店会連合会
- ・ 株式会社まちづくり延岡
- ・ 一般社団法人宮崎県バス協会
- ・ 延岡市健康長寿推進市民会議
- ・ 延岡市障がい者自立支援協議会
- ・ 延岡市介護支援専門員連絡会



市議会

■延岡市DX推進本部

- ・ 本部長 読谷山市長
- ・ 副本部長 山本副市長、中間副市長
- ・ 本部長 企画部長、総務部長、市民環境部長、健康福祉部長、商工観光部長、教育部長

- ・ ワーキンググループ
- ・ 庶務

関係課職員
DX政策推進室



市民

■データ連携基盤整備事業

- ・ 西日本電信電話株式会社
- ・ アクセンチュア株式会社
- ・ 株式会社エルテス
- ・ 株式会社クラスジャパン学園
- ・ 株式会社ケーブルメディアワイワイ
- ・ 東京大学大学院情報理工学系研究科 附属 ソーシャルICT研究センター
- ・ 日本電気株式会社 宮崎支店
- ・ PwC コンサルティング合同会社

■先端的サービスを提供する事業

- ・ あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
- ・ 株式会社アイ・ディー・イー
- ・ 空き家活用株式会社
- ・ 旭化成ネットワークス株式会社
- ・ 旭化成株式会社 延岡支社
- ・ 株式会社アドインテ
- ・ 株式会社エルテス
- ・ 大阪大学人間科学研究科
- ・ 株式会社オーシャンブルースマート
- ・ 陰山ラボ
- ・ キャスレーコンサルティング株式会社
- ・ 株式会社教育情報サービス
- ・ 行政システム九州株式会社
- ・ 株式会社クラスジャパン学園
- ・ 慶應義塾大学 SFC 研究所
- ・ KDDI 株式会社
- ・ KPMG コンサルティング株式会社
- ・ 株式会社ケーブルメディアワイワイ
- ・ 国立循環器病研究センター
- ・ 学校法人三幸学園
- ・ シークリーホールディングス株式会社
- ・ 第一勧業信用組合
- ・ ダブルフロンティア株式会社
- ・ ためま株式会社
- ・ 株式会社 DK-Power
- ・ 株式会社テレビ宮崎
- ・ 東京学芸大学

- ・ 東京大学ソーシャル ICT 研究センター
- ・ 西日本電信電話株式会社
- ・ 日本電気株式会社 宮崎支店
- ・ 株式会社ネクイノ
- ・ VANDDD 株式会社
- ・ フェリカポケットマーケティング株式会社
- ・ 富士ゼロックスシステムサービス株式会社
- ・ 富士フィルムイメージングシステムズ株式会社
- ・ 株式会社 PREVENT
- ・ 宮崎大学医学部看護学科
- ・ 宮崎大学教育学部
- ・ (米国) Memorial Sloan Kettering Cancer Center
- ・ 株式会社リバー

2021年10月

延岡市はスーパーシティ 国家戦略特別区域の 公募に挑戦しています。

もっと豊かに、もっと元気に
もっと明るく、もっと安全・安心に

デジタル化とは「一人ひとりが主役」の時代をつくることです。

働く場所も働き方も、学び方も暮らし方も、医療も福祉も「与えられるもの」から「自分で決められるもの」へと変わります。

大都市圏との距離をなくすデジタル社会では、延岡市はもう「陸の孤島」ではありません。

市民の皆様は住み慣れた自宅で100年安心して暮らせる。子供達も、他人に合わせるのではなく自分らしく生きる。産業ももっと稼げる。

デジタル化によって私たちは、もっと豊かに、もっと元気に、もっと明るく、もっと安全・安心に、働き、学び、暮らせるようになります。

その実現に向けて、一緒にスーパーシティづくりに取り組んでいきましょう。



4月の提案締め切り後、有識者ワーキンググループによるヒアリング、区域指定に関する専門調査会が開催。

その後、応募した全自治体に対して内閣府から規制改革などの再提案が要請。

令和2年

9月1日	改正国家戦略特区法 施行
10月30日	国家戦略特区基本方針 改正
12月25日	スーパーシティ提案の公募開始

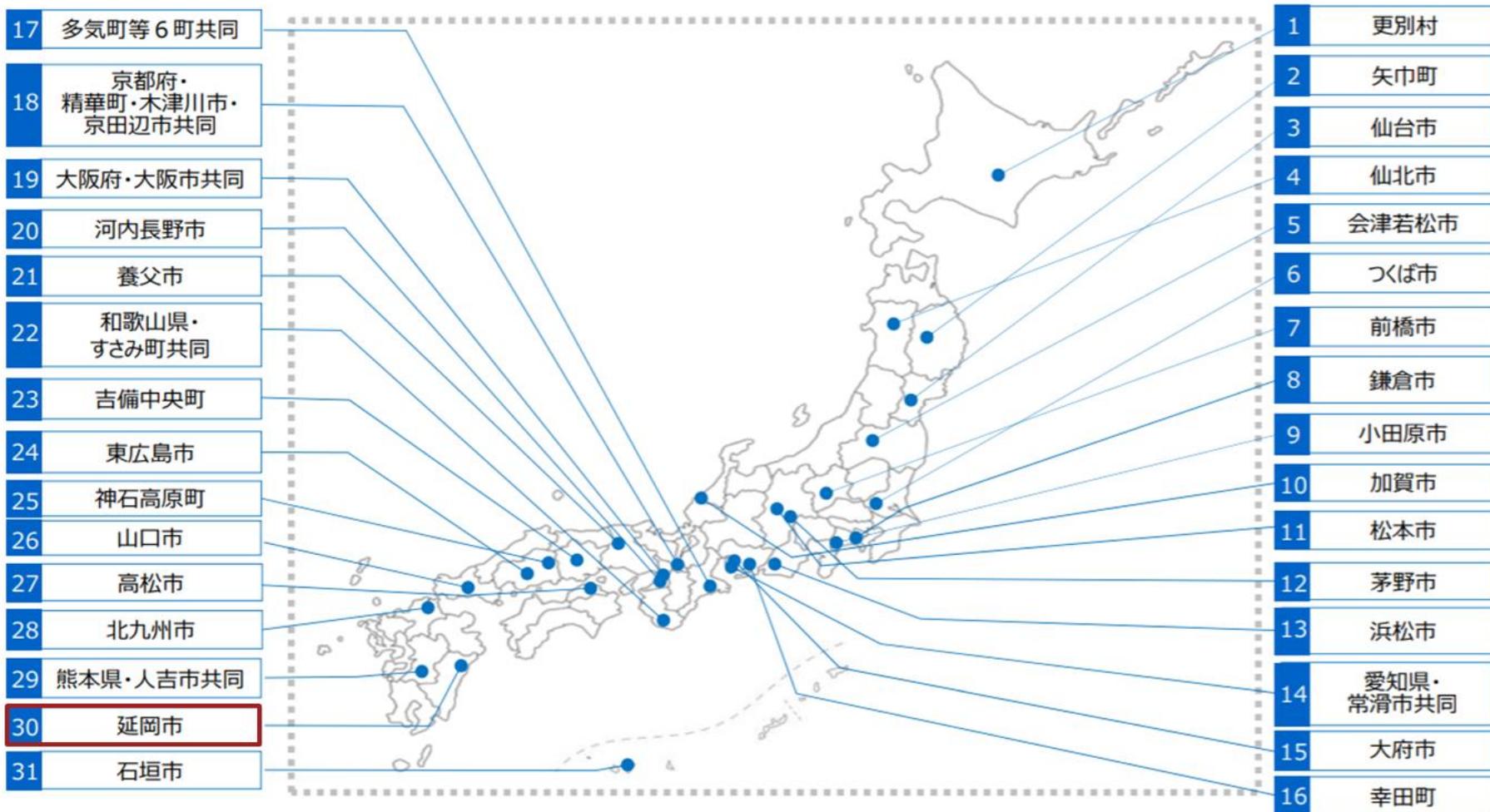
令和3年

4月16日	提案締め切り（全国31の地方公共団体から提案）
5月27日	有識者による提案内容に関するヒアリング
8月6日	第1回 スーパーシティの区域指定に関する専門調査会
8月24日	地方公共団体に対し、規制改革などの再提案の検討を要請
10月15日	再提案の締め切り

（今後の流れ）

- ・ 規制改革の提案の具体化等（国家戦略特区ワーキンググループ）
- ・ 区域指定の原案の検討（スーパーシティの区域指定に関する専門調査会）
- ・ 区域指定の案の意見具申（国家戦略特区諮問会議）
- ・ 区域指定（政令閣議決定）

スーパーシティの区域指定に関する公募には、 延岡市を含む全国31自治体が応募しています。



スーパーシティとは？

内閣府におけるスーパーシティのコンセプト

以下の3要素を合わせ持ったものと定義され、「まるごと未来都市」と呼ぶ。

- ① これまでの自動走行や再生可能エネルギーなど、個別分野限定の実証実験的な取組ではなく、例えば決済の完全キャッシュレス化、行政手続のワンストップ化、遠隔教育や遠隔医療、自動走行の域内フル活用など、**幅広く生活全般をカバーする取組**であること
- ② 一時的な実証実験ではなくて、2030年頃に実現され得る「ありたき未来」の**生活の先行実現**に向けて、暮らしと社会に実装する取組であること
- ③ 供給者や技術者目線ではなくて、**住民の目線でより良い暮らしの実現を図る**ものであること



延岡市にとっての意義

1. 市民生活の質の向上

日々の生活には、様々な不安や困りごとなどがたくさんあります。先端技術の導入により、安全安心で便利な暮らしを実現します。

2. 産業の強化や雇用の増加で所得向上

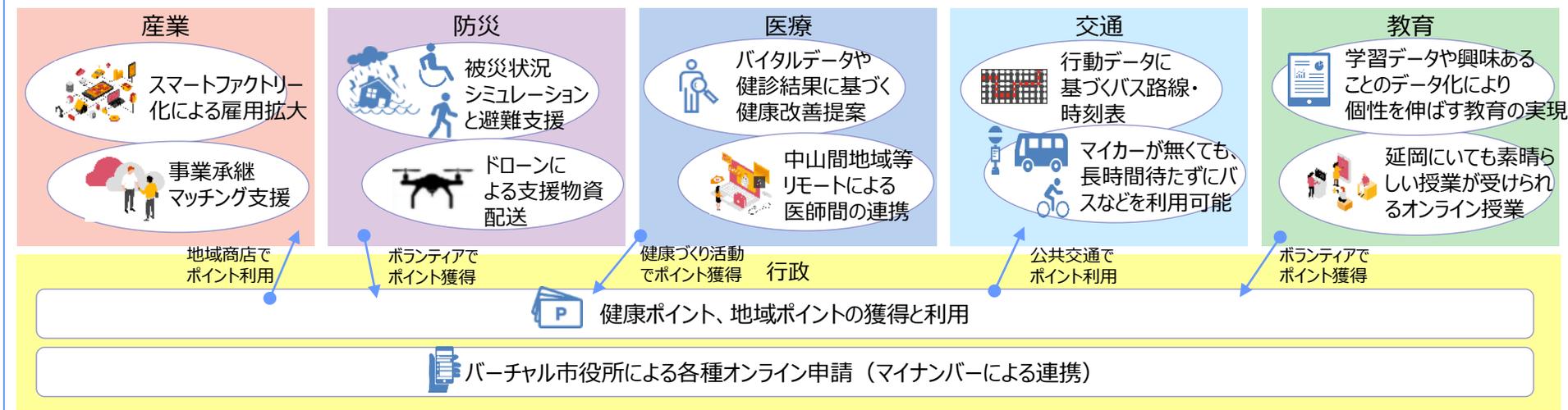
デジタル化の良い点をまち全体に取り入れることで、延岡の産業はもっと稼げるようになります。企業や大学・研究機関の進出による雇用の増加と市民所得の向上にも貢献します。

3. 他都市に先駆けた率先実施

他都市に先駆けて課題を克服することで、将来にわたって人や企業を惹きつける「魅力ある延岡」を築きます。

延岡市のデジタル化の取組みと2030年の未来像

神話・ものづくり・アスリートのまちのDX が日本を照らす（2030年の延岡市の未来像イメージ）



※ 太青枠は、スーパーシティ特別区認定に向けた取り組み

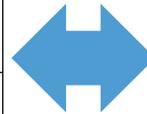
世界一たくましい工業地域づくり	トップアスリートの叡智を活かし「健康長寿100歳」を実現	市民の「自地域肯定感」を育む安心・安全なまちづくり	バスで暮らせるまちづくり	一人ひとりの個性・能力を大切に「ものづくりのまちならではの学び」の推進	地域愛が動かす地域経済循環システムの構築
ものづくり現場の生産性向上を5G等で実現	健診・生活習慣・健康づくり活動等のデータ収集・分析による予防医療対策の構築	市民の行動データの収集・分析による避難施設整備等	市民の行動データの収集・分析による最適なバス交通網の整備及び「バス&シェアサイクル」ネットワークの構築	多様な体験活動や、自主的な学習のログ化による個性を大切に育む「未来の学校」づくり	ボランティア活動のポイント化による地域ポイントシステムの構築
中小企業の価値の「見える化」による事業・技術承継の推進	市民の健康づくり活動をポイント化し地域経済を活性化	音声認識やロボット技術を活用し、孤立を防ぐコミュニケーション手法の構築	市民の行動データの収集・分析による過疎地の「貨客混載型バス交通&スクールバス住民混乗」ネットワークの構築	バイタルデータ分析により子どもの「心の声」をキャッチ・誰一人取り残さない教育を実現	健康づくりポイントを含め、マイナンバーと一体となった地域ポイントシステムの構築
	市民の健康づくり活動を「学習ログ」化し次世代指導等に活用	健診・生活習慣・健康づくり活動等のデータ収集・分析によるリモート診療基盤づくり		オープンテレワークスペースによる「生きたキャリア教育」の推進	
		子育て家庭との双方向コミュニケーション機能の整備		STEM教育や英語学習など楽しく学べる学習の推進	
		各種申請機能を含む情報ネットワーク整備			
		5G等による見守りシステムの構築			
		一人ひとりのライフスタイルに合った行政サービスの展開			

延岡市まちづくりの基本目標実現に貢献するスーパーシティの取組



第6次延岡市長期総合計画における基本目標とその取組

延岡の特色を活かした交流連携のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 「東九州のクロスポイント」としての拠点都市づくり ・ 大学を活かしたまちづくり ・ アスリートタウンの再構築 ・ 歴史・文化を学び育むまちづくり ・ 高速道路の整備 ・ 鉄道・バス等（広域的な移動手段）の整備 ・ 移住の促進・関係人口の創出 ・ 交流連携のまちづくり
未来を切り拓く活力ある産業づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業の振興 ・ 林業の振興 ・ 水産業の振興 ・ 商業の振興 ・ 観光産業の振興 ・ 工業の振興 ・ 企業立地の推進 ・ IT産業の集積促進等 ・ 人材政策の推進 ・ 創業支援や新たな産業の創出等
安心安全な暮らしを支える地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域コミュニティ ・ みんなで決めて、みんなで逃げる住民主体の防災 ・ 消防 ・ 安心・安全な暮らしづくり ・ 子どもを産み育てたいと思えるまちづくり ・ 高齢福祉・介護 ・ 障がいと共に暮らせる社会づくり ・ 健康長寿と医療 ・ 生活を支える制度 ・ 公共交通（日常的な移動手段の確保）
一人ひとりを大切に育む人づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人ひとりの個性や能力を大切に育む教育 ・ 青少年の人間力育成 ・ 全ての世代向上心を大切にする生涯学習・社会教育 ・ 豊かな心あふれる文化都市づくり ・ スポーツ・レクリエーションのさらなる推進 ・ 男女共同参画社会づくり ・ すべての市民の人権が尊重されるまちづくり
ぬくもりと躍動感が感じられる都市環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境保全 ・ 廃棄物対策 ・ 生活衛生 ・ 持続可能な土地利用 ・ 市街地整備 ・ 道路 ・ 住宅 ・ 市民と育む公園緑地 ・ 自然・歴史・産業が織りなす景観づくり ・ 水道 ・ 下水道 ・ 河川・港湾・海岸 ・ それぞれの地域の特色を活かした中山間地域対策
多様な人材が参画する市民が主役のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民が主役のまちづくり ・ 「対話の市政」の基盤となる広報・広聴・情報公開の充実 ・ 地域の実情に合った「スマートシティ」の構築 ・ 効果的で効率的な行政経営 ・ 使命感を持って市民と向き合う市役所を目指して



スーパーシティ構想における取組（案）

<p>産業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ローカル5G等の先端技術を活用したスマートファクトリー化と雇用促進
<p>防災</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害総合シナリオシミュレータの開発 ・ 市民一人ひとりの状況に合わせた避難支援 ・ ドローンによる緊急時の支援物資配送
<p>医療</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康支援AI（疾病リスク予測・改善勧奨AI） ・ パーソナルヘルスレコード（PHR）、郵送健診、生活パターン変化による見守り ・ 動く衛生検査所（検査MaaS）
<p>交通</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ライフスタイル認証技術の活用により、その人にとって使いやすいバスやシェアサービス等交通手段を探索・提案するMaaS ・ 空飛ぶクルマ、オンデマンド交通など
<p>教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校や塾が保有する学習データを本人・保護者と共有し、一人ひとりに合ったカリキュラムを提供 ・ 指導要領の弾力的運用、オンライン授業の拡充 ・ 自分の興味・関心事から将来の進路を探る
<p>行政</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内の買い物で使える地域ポイント、健康ポイントのデジタル化 ・ バーチャル市役所

ものづくりのまちで先端技術を導入したスマートファクトリーを実現 地元人材の活躍で産業競争力が強化され、市民の所得が向上 長年育まれた技術を次世代が受け継ぎ、「世界一たくましい工業地域」を実現



現状

- 若者の市外・県外就職や離職が今なお多い
- 子ども時に地域のものづくり産業に触れる機会が少ない
- 給与水準が低いとの声が多い
- 将来にまで継続して働き続けられるか不安
- 跡継ぎがない

市民まちづくりアンケート（令和2年3～5月）より

実現したいまちの姿

- 魅力的な働く場の創出、インターンシップ等により新たな人材が確保できる
- 付加価値と産業競争力を向上させられる
- 雇用の場が継続的に確保できる
- 継続的に事業維持・納得できる事業承継ができる



スーパースィティでの取組イメージ		関連	規制緩和事項
<p>地に魅力的な仕事をつくる</p> <p>5G等の先端技術活用によるスマートファクトリー</p> <p>新たな人材の確保</p> <p>社会見学 体験学習</p> <p>スマート農業・水産業・林業</p> <p>詳細映像を用いた工場内作業の検証</p> <p>作業業務の遠隔指導</p> <p>ドローンを活用した業務の効率化</p>	<p>工業都市としての事業の承継</p> <p>事業承継による人材の確保</p> <p>事業承継のマッチング支援</p> <p>企業価値の見える化</p> <p>「市民所得の向上」</p>	<p>産業</p> <p>防災</p> <p>医療</p> <p>交通</p> <p>教育</p> <p>行政</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ローカル5G免許制度の規制緩和 • 企業社員講師による高校等における遠隔講義（技術指導等）での単位取得認定 • ドローン飛行に関する規制緩和
<p>【利用するデータ】 気象データ、防災データ、作業員バイタルデータ、各種経済・社会データ等</p>			

災害時の備えに最先端の技術を活用、一人ひとりの行動や暮らしに合った避難支援を実施し、全ての市民の命が守られるまちに



現状

- 大規模災害の被害状況が把握できず、どのような避難行動が必要か判断できない
- 安全な避難所が自宅や職場の近くにない
- 避難には支援が必要であり、自分一人では避難できない
- 被災時に、集落が孤立してしまうことが心配

市民まちづくりアンケート（令和2年3～5月）より

実現したいまちの姿

- 実社会を精緻に反映した仮想空間でシミュレーションを行い、災害発生時の行動訓練ができる
- 個人や世帯単位で被災状況に即した対応を支援
- 近隣の要支援者の情報が分かり、支援ができる
- 被災地域への支援物資・医療物資をドローン搬送

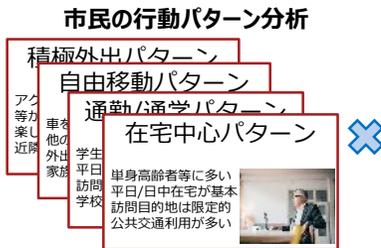


スーパーシティでの取組イメージ

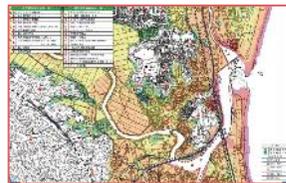
- 市民の行動パターンを踏まえた被災状況のシミュレーション
- 仮想空間上での被災状況シミュレーション

データに基づく災害時の精緻な避難予測

一人ひとりの現在位置や行動パターンに基づく避難誘導



災害別の被災予測



【利用するデータ】人口・建物・道路といった社会基盤情報、浸水想定エリア
災害発生時の通知情報、気象情報、避難時要支援者の情報、マイナンバー

関連	規制緩和事項
産業	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報として保護されている家屋に関わる情報利用 個人情報として保護されている災害時に配慮・支援を要する人の情報利用 ドローン等の飛行に関する被災時における特例措置
防災	
医療	
交通	
教育	
行政	

健康状態や生活習慣のデータから認知症や骨粗しょう症、脳梗塞等の対策を導き出し「100歳まで自宅で安心して暮らせるまち」を実現



医療（保つ）

現状

- 急速に進む高齢化、コロナ禍における疾病患者の増加等に伴う医療機能の不足、今後の地域医療への不安
- 加齢や生活習慣の乱れにより進行する疾病、発見の遅れによる重症化のリスク
- 地域内の多様な医療機関、介護事業者間における連携強化の必要性

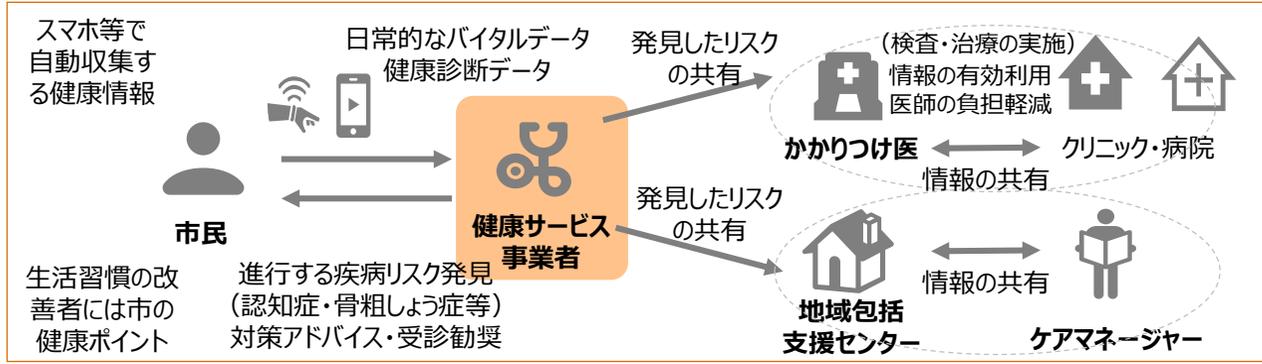
市民まちづくりアンケート（令和2年3～5月）より

実現したいまちの姿

- 健康サービスが充実することで、将来も健康を保つことができる
- 重症化前にリスクと対策を導き出し、早期に健康改善を行うことができる
- 健康状態の計測・管理を自動でできる
- お医者さんやケアマネージャーさんが心身の状態をよく分かった上で対応できる



スーパーシティでの取組イメージ



関連

- 産業
- 防災
- 医療**
- 交通
- 教育
- 行政

規制緩和事項

- 医療・健康におけるパーソナルデータ活用の緩和
- 健康づくり支援における書面での医師の承諾・指示の緩和

【利用するデータ】 市民のバイタルデータ（身体情報）、健康診断結果、レセプト情報等

延岡こども未来創造機構と地域医療機関の「医」と「学」のデータ連携により、児童生徒の成長の基盤となる健康増進を実現する



医療（保つ）



住民へのメリット

- 教育委員会と地域医療機関との連携により、児童生徒の成長の基盤となる健康増進を実現する。
- 「学校健康診断」のデータを保護者の許諾に応じて、保護者が指定する医療機関等へ開示することで、子ども達の正確な健康データに基づく、「医」と「学」が連携した心と体の健康増進に寄与する新たなサポートを受けることが可能となる。

規制緩和事項

- 児童・生徒の健康診断データを医療機関に開示することに関する許諾
- 自宅や校内で取得したバイタルデータの提供に関する規制の緩和

想定するサービス

- 子ども達の体の健康の見守りサポート
 - 体重・身長など肥満など将来の疾病リスクの把握
 - 心電図、胸部レントゲン等による難病診断 等
- 子ども達の心の健康を見守りサポート
 - バイタルデータ分析により、疲労やストレスなどの“こころの声”をキャッチし、虐待・いじめの早期発見、うつ、適応障害の予測
 - 骨折、外傷の発生・頻度などによる虐待・いじめの早期発見 等

活用するデータ

- 就学時健康診断票、学校定期健診診断票
- 医療機関における健診データ

最先端技術を活用することで、マイカーが無くても公共交通で便利に暮らせるまち



現状

- 公共交通の便数が少なく、自家用車が無いと移動が大変、危険であっても免許返納が出来ない
- バスルートが希望地域になくバス停が遠いため、自由な外出が出来ない、買い物をしても持って帰れない
- 市民のニーズにそぐわない路線やダイヤになっている

市民まちづくりアンケート（令和2年3～5月）より

実現したいまちの姿

- 便利で利用しやすい公共交通が存在し、市民利用が拡大することで更に公共交通が充実する
- バス「+α」の二次交通が存在し、自由な移動・流通ができる
- 買い物や通院、趣味などの活動が制約なく行える
- 生活パターン・行動パターンに合う路線設定がされる



スーパーシティでの取組イメージ

積極外出パターン
アク等カ
等カ
近隣

自由移動パターン
車他
の外
家族

通勤/通学パターン
学生
平日
訪問
学校

在宅中心パターン
車身高齢者等に多い
平日/日中在宅が基本
訪問目的地は限定的
公共交通利用が多い

行動パターン

公共交通網の全体最適/誰もが利用しやすい交通

- 市民の行動パターンに合わせた路線・時刻表を構築
- 小型モビリティやシェアサイクル、ドローン物流等による公共交通網の補完



バス・公共交通



グリーンスローモビリティ



シェアサイクル

【利用するデータ】 市民の移動履歴、運転データ、公共交通利用者等

関連	規制緩和事項
産業	<ul style="list-style-type: none"> 道路運送車両法、道路交通法 航空法（小型無人航空機の飛行に関する各種規制） 電波法（実用化試験局申請の簡略化等） 保険制度（自動車損害賠償責任保険等）
防災	
医療	
交通	
教育	
行政	

空飛ぶクルマにより遠隔地への移動を高速化するとともに、
災害時支援、救急救命医療等の緊急時対応を迅速かつきめ細かく行う。



出典：経済産業省ウェブサイト (<https://www.meti.go.jp/press/2018/12/20181220007/20181220007.html>)

住民へのメリット

- 離着陸場を空港外に複数設けることで、救急医療対応が迅速化され、命の危機からの救命の可能性が高まる。
- 災害が発生時に、陸路では医療チームや物資が到着できない、または時間を要するケースにおいても、空路から救急医療対応・緊急支援物資の輸送が可能である。
- 宮崎空港等へのスピーディーなアクセスが可能になる。

規制緩和事項

- 航空法
 - 廃校跡地や砂浜などを利用可能にする離発着場要件の緩和
 - 最低安全高度要件の緩和
 - 燃料携行要件の緩和
 - 運航関連許可手続きの簡素化
 - 機体試験飛行許可手続きの簡素化
- など

想定するサービス

- 救急要請のあった現場への救命医療対応としての医師派遣サービス
- 災害発生時における救急医療・災害対応支援サービス
- 災害時における孤立化集落への緊急支援物資の輸送サービス
- 空港・延岡市間の企業等の旅客輸送

活用するデータ

- 地図や地理空間データ
- 気象・災害等に関するデータ
- 同意された個人の健康・医療・避難要支援状況に関するデータ

人工知能技術を活用した市内のヒトとモノの移動最適化サービス



交通（動く）



住民へのメリット

- ・マイカーに依存することなく、公共交通や各種移動手段を組み合わせ、容易に移動することが可能となる。
- ・高齢者の免許の返納が進むことにより、事故等の件数が減少し、安心安全な街が実現する。
- ・将来的にはカーボンニュートラルにも寄与し、クリーンな延岡市を実現することが可能となる。

規制緩和事項

- ・ 自家用有償旅客運送／道路運送法
 - ・ 市民の自家用車による有償での旅客運送は現状、既存のバスやタクシー事業者による輸送サービスの提供が困難な場合に限定されており、制限を解除して、様々な移動手段を提供する。
- ・ 道路運送法
 - ・ タクシー事業者による貨客混載による配送は、新型コロナウイルスの影響により飲食品については特例措置が取られ、その後、恒久化が決定。一方で飲食品以外の配送に関しては未緩和であり、更なる規制改革を求める。

想定するサービス

- ・ オンデマンドによる交通手段を導入し、公共交通を組み合わせたドアツードア的な移動を実現し、行きたいところに待ち時間を最小化して移動する手段を提供
- ・ AIマッチング技術を活用し、相乗り事業や自家用有償旅客運送、タクシーの貨客混載を推進

活用するデータ

- ・ 地理情報（道路、建物、気象等）
- ・ 時刻表、ルート等のデータ（バス、鉄道、フェリー等）
- ・ 交通状況のリアルタイムデータ（位置、混雑状況）
- ・ 個人の移動に関するデータ（現在地、目的地、移動方法）

児童生徒、一人ひとりの個性や興味関心を大切にする学びを実現 「人間力」の豊かな市民を育むために



教育（学ぶ）

現状

- 全国学力調査の結果が依然として厳しい状況
- 将来の夢が具体的に描けない
- 通学に遠く、公共交通が不便
- 成人にとっての新たな学びの場が少ない
- 高齢者等が利用できるコミュニティ・交流の場が少ない

市民まちづくりアンケート（令和2年3～5月）より

実現したいまちの姿

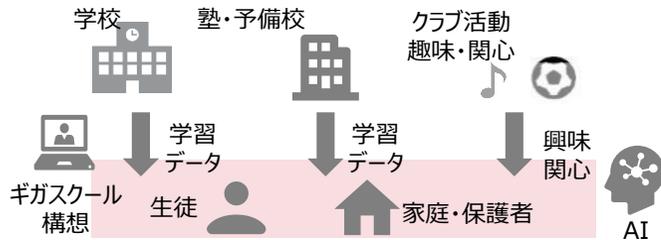
- 延岡市で生まれ育った子ども達の知力・体力・人間力の向上
- 離島に住む人や何らかの理由により学校に通えない人にも平等に高度な教育が受けられる仕組み
- 生涯にわたり、一人ひとりの個性や適性を大切にする学びの実現



スーパーシティでの取組イメージ

一人ひとりに最適化したカリキュラム提供

生徒本人・保護者が、個人情報と紐づかない形にしてフィードバックする「未来の学校」



外遊びや人間関係づくりの達人を育む

プレーパーク



アウトドア体験

関連

産業

防災

医療

交通

教育

行政

規制緩和事項

- 学校や塾が保有する学習や興味関心に関するデータを本人・家庭と共有し、教育機関やキャリア教育指導者が参照して活用する仕組み
- 学年の壁を越えた学習のための指導要領の弾力的運用
- オンライン授業の時間数認定の緩和
- 同時双方向遠隔授業等に関する規制の緩和

【利用するデータ】学習履歴・理解度（学校/塾）、課外活動成果等

生徒一人ひとりの能力や個性等に合った教育を提供し、一人ひとりが将来活躍できるための延岡独自の科目を制定、市外教員も積極活用したオンライン授業を提供



教育（学ぶ）



規制緩和事項

- ・ 市教委による特別教員免許発行要件の緩和
- ・ 同時双方向遠隔授業制度に関する規制の緩和
- ・ 学習指導要領の弾力的運用による学年や小・中・高の境を超えた学習の実現

想定するサービス

- ・ 生徒一人ひとりに対して個別最適化された教育・学習の提供に加え、市外在住の“先生”と繋がるオンラインでの遠隔授業
- ・ 既存の教科・科目と連携しながら、特に、プログラミング、論理コミュニケーション、実用的に使える英語などの授業を充実し、将来どの分野に進むとしても子どもたちが活躍できるため、延岡市独自の授業を提供

活用するデータ

- ・ 個々の児童・生徒の学習データ
- ・ 個々の児童・生徒の興味関心事のログ
- ・ 外部教員等のデータ

住民へのメリット

- ・ 全ての子どもが活躍できるための延岡独自の教育カリキュラムを、他都市に先駆けて実現することにより、どの分野でも活躍できる人財を育成できる。
- ・ 個々の科目について、限られた教員での授業だけでなく、市外（海外を含む）からも教員を採用することで、より質の高い教育が実現する。
- ・ 延岡の子どもたちが、特に英語・プログラミング・論理コミュニケーションを楽しく学ぶことで、将来どの分野に進んでも活躍できる。

学校に1人しかいなくても地域全体で「部活動」ができる

選択するのではなく、
自分の好きを起点に部活動を行う

好きに
挑む



【eスポーツ部】
学校区の大人子ども混合の
eスポーツチーム



【カレー部】
カレーが大好きで、
香辛料から自分たちでつくっちゃう
コミュニティ



【SDGs部】
自分たちで地球環境について考えながら
これからの持続可能な社会を考える
コミュニティ



【カメムシ部】
カメムシの生態や発生させるにおい
についての研究をするチーム



【プログラミング部】
Julia、ABAP、Rustなど、さまざまなプロ
グラミング言語の成り立ちや意味を探究し、
自分たちの言葉を理解するコミュニティ



学校内には仲間が見つからないニッチなテーマでも
仲間を市内全域の同年代、さらには、市内全域の大人も含めて集めて
小さなコミュニティを形成する。



In Our Community We Design It With Us, Not Someone Design It For Users.

先端技術と規制緩和で、役所の都合に合わせず、 自分のライフスタイルどおりに様々な手続きが出来るまち



現状

- ・ 転入転出、結婚・出産、各種名義変更など、市役所等の窓口来庁が必須な手続きが多く不便、コロナ感染も心配
- ・ 記名・押印を要する手続きは個別に分断されており、同じ内容を各所で何度も手書き記載する必要がある
- ・ 必要な手続きを漏らしてしまう、忘れてしまう

実現したいまちの姿

- ・ マイナンバーで個人情報集中管理でき、必要な手続きはオンラインで完結できる
- ・ 必要箇所では情報が共有され、関連する手続きは連動して一度に実施できる（ワンストップ・ワンスオンリー）
- ・ 個々人の状況を鑑み、申請漏れ等が通知される



スーパーシティでの取組イメージ

バーチャル市役所

コロナ禍での窓口来庁種類別に連携しない手続き
手書きの各種申請書類
必要手続きの漏れ



市役所



自宅から可能な申請手続き
手続き間の連携・情報共有
マイナンバーとの連携

大規模災害時	<ul style="list-style-type: none"> ・ 迅速な罹災証明発行 ・ 生活再建の手続簡素化
手続き簡素化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電子認証による脱印鑑 ・ 情報共有・連携により必要な手続き等は一括で実施可能
手続の個別化	<ul style="list-style-type: none"> ・ マイナンバーでの個人情報一括管理 ・ 市民個別の状況に合わせた必要手続きの案内

【利用するデータ】住民基本台帳、固定資産税、地図、マイナンバー、書類発行履歴情報等

関連	規制緩和事項
産業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種手続き申請における押印の要件緩和 ・ マイナンバーと連動させた地域通貨の発行・利用 ・ 地域通貨（ポイント制）の活用促進に係る規制の緩和（資金供託等）
防災	
医療	
交通	
教育	
行政	

老朽化が進む空き家を見える化して流動化、災害時は避難・支援拠点として活用することで、生活環境を保全し安全安心な暮らしづくりを加速



住民へのメリット

- 空き家の所在を見える化し、老朽化が進む前に修繕・流動化させることで、火災・倒壊のリスクを低減、衛生環境の悪化を抑止、まちの景観維持が可能となる。
- 空き家の内部を見える化し、リノベーション後のイメージ等を空き家購入希望者に提供可能となる。
- 市外の関係人口をデジタル市民としてネットワーク化・空き家使用权を付与し、空き家宿泊・短期居住させることで、まちの活性化を促進。

規制緩和事項

- 空家等対策の推進に関する特別措置法など

想定するサービス

- ハザードマップと空き家所在を重ね、空き家を災害時の避難、または支援拠点とするサービス。
- 活用したい空き家を人工知能と点群カメラ等によってデジタルモデリングし、修繕やリノベ計画などをデジタル上で実現するサービス
- 延岡市以外に在住する人々について、延岡への二拠点・移住希望者をデジタル市民として確保

活用するデータ

- 不動産等に係る登記情報
- 地理空間データ
- 気象データ、防災データ等

データをつなぐことでまちの機能を高度化する延岡市

産業（働く）

ものづくりのまちで先端技術を導入し、産業の競争力や市民所得を向上させ、技術を次世代が受け継ぐことにより「世界一たくましい工業地域」を実現、安心して働き続けられるまち

防災（守る）

災害時に対する備えに新技術を活用し、一人ひとりの生活様式や行動パターン・暮らしの状況にあった避難支援により、全ての市民の命を守るまち

医療（保つ）

早めに疾病を予防し、100歳まで自宅で安心して暮らせるまち

交通（動く）

最先端技術を活用して、公共交通の利便性を高め、誰もが自由に移動できるまち

教育（学ぶ）

学校、塾などの学習や興味関心に関するデータを本人・家庭と共有し、児童生徒一人ひとりの個性や興味関心を大切に「人間力」を育むまち

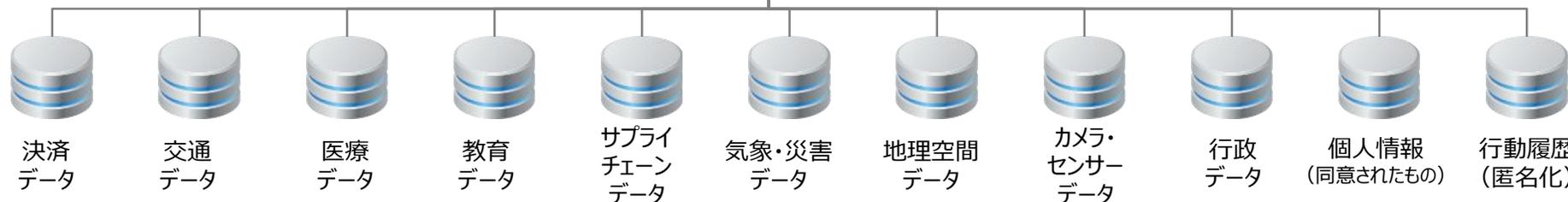
行政（暮らす）

先端技術とともに規制緩和を行い、役所の都合に合わせるのではなく、自分の都合で実施出来る、便利なまち



空飛ぶクルマ関係画像 出典：経済産業省ウェブサイト (<https://www.meti.go.jp/press/2018/12/20181220007/20181220007.html>)

データ連携基盤



延岡市の基本姿勢

データの安全管理

市が責任をもって確実にセキュリティを確保する仕組みを構築し、万が一が無いようにセキュリティ管理を実施していきます。

個人情報の保護

サービス実施に当たっての個人情報の収集・利用は、事前同意を原則とするなど、個人情報保護、プライバシーに十分配慮します。

デジタル技術を利用できる人・使いこなせる人とそうでない人の間に生じる格差の解消

誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化を推進するため、デジタル技術に苦手意識を持っている市民向けの無料講習会開催など、きめ細かな支援に取り組みます。

よくある質問

なぜ、わざわざスーパーシティに応募しなければならないのか

デジタル化をいろいろな分野に取り入れ、心身の健康づくりや子供の学び、交通ネットワーク構築などに活用し、また、地元企業の生産性の向上や企業誘致を進めることで、私たちがもっと豊かに、もっと元気に、もっと楽しく暮らせるまちにすることが出来ます。

個人情報勝手に使われたり、漏洩したりする懸念はないのか

市民の個人情報を勝手に使うことはありません。実証の目的に賛同頂いた方からご提供頂いたデータを利用します。

新しい技術を使いこなせない高齢者は置いて行かれるのではないのか

様々な技術の導入にあたっては、誰もが分かりやすい形としていきます。説明会や相談窓口も開設して、誰一人とり残さないための対策をとっていきます。また、新しい技術を広く活用することで、個別対応が必要な住民に対してもさらなるケアを図れるようにします。

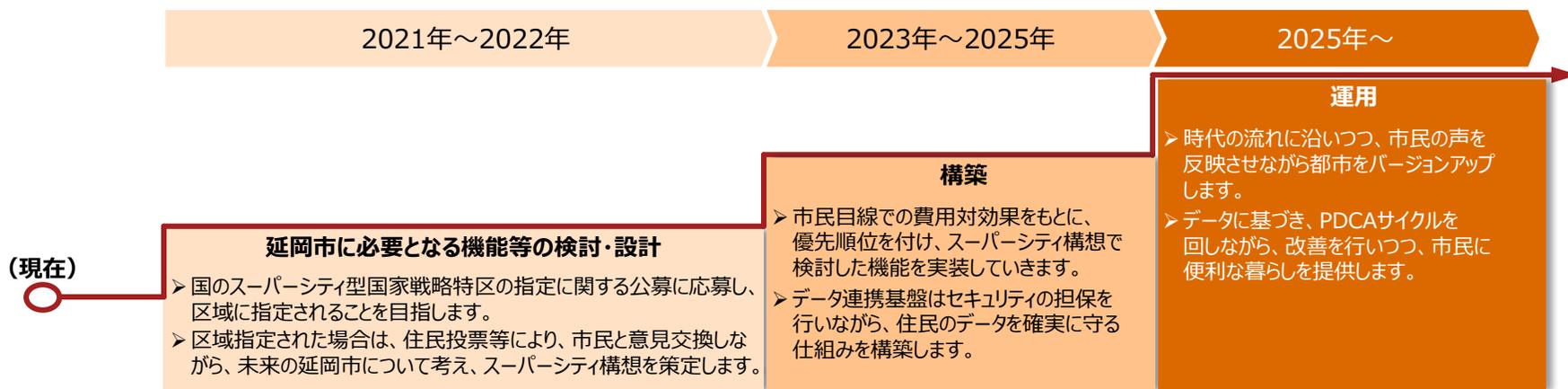
余計なコストがかかる無駄遣いになるのではないのか

各種プロジェクトには、国の財政支援等を最大限活用していきます。市民の皆さまのお困りごとや課題を解決し、暮らしをより良くする事業を実施します。その場合も、費用対効果を十分考えて実施します。

今回の説明内容は決定しているものなのか
スーパーシティへの着手は、いつ、誰がどうやって判断するのか

本日のご説明は、4月に国の公募に申請した「延岡市スーパーシティ構想」について追加提案を行う、というご説明です。国で採択を受けた後に、市民の皆さまのご意見をしっかりお聞きしながら、協力を申し出てくれた企業・研究機関（現在107）と連携して、今後詳細な計画をつくりま

延岡市スーパーシティに向けたロードマップ(想定) ※今後のスケジュールについては明示されておりません



住民説明	令和3年4月	延岡市の住民に対して、区域指定応募前に、市民の意向を把握する。
内閣府への応募	令和3年4月	内閣府 スーパーシティ型国家戦略特別区域の指定に関する公募に応募する。
内閣府への追加提案・住民説明(再)	令和3年10月	内閣府 スーパーシティ型国家戦略特別区域の指定に関する公募への追加提案を実施する。
専門調査会・区域指定	令和4年1月頃?	内閣府の専門調査会の原案検討を経て、政令閣議決定により指定
基本構想の策定	令和4年4月頃?	国の支援を受け、区域会議が中心になり、延岡市におけるスーパーシティの基本構想を策定
住民の意向の把握	令和4年5月頃?	協議会、議会の議決等により、住民の意向を把握
住民の意向の反映	令和4年6月頃?	スーパーシティ構想に住民の意向を反映させる。
住民投票	令和4年9月頃?	内閣総理大臣への提出前に、住民等の意向の確認のために、住民投票などを実施
基本構想の提出	令和4年12月頃?	延岡市のスーパーシティ構想を内閣総理大臣に提出
規制の特例措置の求め	令和5年1月頃?	延岡市の先端的区域データ活用事業活動に対して、新たな特例措置の求めを実施
スーパーシティに関する設計	令和5年1月頃?～	スーパーシティ構想に係る設計を開始(関係府省庁の事業費を集中投資)

国内最先端の技術を有する大学・研究機関・企業による協力・支援

東京大学 相互の連携・協力に関する 協定書を締結



- 市街地北部・南部におけるまちなか循環バスを対象に調査研究を実施し、交通路線の最適化を実現

国立循環器病研究センター 相互の連携・協力に関する基本協定 を締結



- 行政が有するデータを用いて健康増進政策等の為のデータベースを構築

東京学芸大学 教育・子育てに関する包括協定を締結



- 相互の教育・子育てに関する取り組みを推進するための包括協力に関する協定を締結

慶應義塾大学 地域創生における研究開発 に関する連携協定を締結



- 論理コミュニケーションのオンライン学習を同時双方向遠隔授業環境を活用して市内中学校において実施し、効果を検証

旭化成株式会社 延岡支社 健康長寿のまちづくりに関する 連携協定を締結



- 高齢者等の健康を保つため、要介護状態の原因となっている折、その原因となる骨粗しょう症の対策を推進

旭化成株式会社 旭化成ネットワークス ケーブルメディアワイワイ ローカル5G等を活用した地域課題解決に関する 取り組みを推進するための連携協定の締結



- ローカル5G等を活用した実証を通じ、様々な地域課題の解決や市民生活の向上、ポストコロナを見据えた市の発展を目標

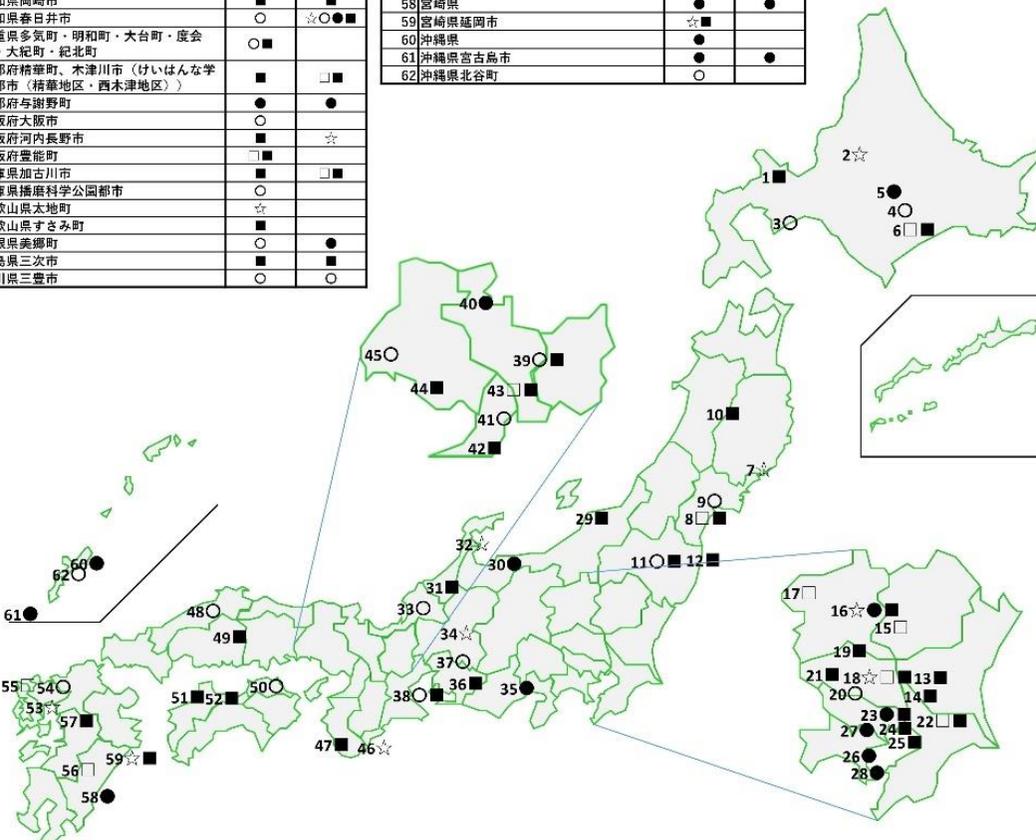
令和3年度 スマートシティ関連事業に延岡市が採択(8月24日)

スマートシティ関連事業として**62地域**の事業が選定。**九州は7地域**のうち内閣府指定は**嬉野市と延岡市のみ**。

項番	プロジェクト実施地域	選定事業	過年度選定
1	北海道札幌市	■	●
2	北海道旭川市	☆	●
3	北海道室蘭市	○	●
4	北海道帯広市	○	●
5	北海道芽室町	●	●
6	北海道更別村	□	☆
7	岩手県陸前高田市	☆	■
8	宮城県仙台市	□	■
9	仙台市泉区南光台・八乙女地区	○	■
10	秋田県仙北市	■	☆
11	福島県会津若松市	○	●
12	福島県南相馬市	■	■
13	茨城県つくば市	■	●
14	茨城県守谷市	■	■
15	栃木県佐野市	□	■
16	群馬県前橋市	☆	●
17	群馬県碓氷村	□	■
18	埼玉県さいたま市	☆	■
19	埼玉県熊谷市	■	■
20	埼玉県入間市 宮寺・二本木・東金子、金子・勝沢第一・第二エリア	○	■
21	埼玉県毛呂山町	■	■
22	千葉県柏市	□	■
23	東京都千代田区(大手町・丸の内・有楽町地区)	●	■
24	東京都港区(竹芝地区)	■	■
25	東京都大田区(羽田空港跡地第1ゾーン)	■	□
26	山手線周辺/横須賀市	●	●
27	川崎市、箱根町	●	●
28	神奈川県横浜須賀野市、三浦市	●	●

項番	プロジェクト実施地域	選定事業	過年度選定
29	新潟県新潟市	■	○
30	富山県朝日町	●	●
31	石川県加賀市	■	●
32	石川県中能登町	☆	■
33	福井県永平寺町	○	○
34	岐阜県中津川市	☆	■
35	静岡県静岡市	●	○
36	愛知県岡崎市	○	■
37	愛知県春日井市	○	☆
38	三重県多気町・明和町・大台町・度会町・大紀町・紀北町	○	■
39	京都府精華町、木津川市(けいはんな学研都市(精華地区・西木津地区))	■	□
40	京都府与野野町	●	●
41	大阪府大阪市	○	■
42	大阪府河内長野市	■	☆
43	大阪府豊能町	□	■
44	兵庫県加古川市	■	□
45	兵庫県播磨科学公園都市	○	■
46	和歌山県太地町	☆	■
47	和歌山県すさみ町	○	●
48	島根県美郷町	○	●
49	広島県三次市	■	■
50	香川県三豊市	○	○

項番	プロジェクト実施地域	選定事業	過年度選定
51	愛媛県松山市	■	■
52	愛媛県新居浜市	■	□
53	佐賀県嬉野市	☆	■
54	佐賀県基山町	○	■
55	長崎県	□	■
56	熊本県人吉市	□	■
57	熊本県荒尾市	■	■
58	宮崎県	●	●
59	宮崎県延岡市	☆	■
60	沖縄県	●	●
61	沖縄県宮古島市	●	●
62	沖縄県北谷町	○	■



内閣府「未来技術社会実装事業」	☆
総務省「データ連携促進型スマートシティ推進事業」※1	□
経済産業省「地域新MaaS創出推進事業」	○
国土交通省「日本版MaaS推進・支援事業」※2	●
国土交通省「スマートシティモデルプロジェクト」	■

※1令和2年度までの施策名は「データ活用型スマートシティ推進事業」
 ※2令和元年度の施策名は「新モビリティサービス推進事業」

スーパーシティ型国家戦略特別区域:全国5地域を選定予定

延岡市に期待される効果

- ①教育の充実
- ②災害に強い安心のまちづくり
- ③延岡への企業進出・雇用創出
- ④国の関係府省庁事業の集中投資 等

市民一人ひとりが主役の時代をつくる延岡市のスマートシティ推進事業

活用技術：AI、ビッグデータ、自動運転、キャッシュレス、SIP

目指す将来像	子どもから大人まで一人ひとりの個性や能力を大切にしながら「製造業のまちならではの学び」を推進し、市民の「自地域肯定感」を育む安心・安全で、かつ利便性の高い社会をつくり、我が国のお家芸である製造業を中心に、市民が主役のまちを目指す。
解決すべき課題	高い質の教育を担保できない地方都市は、単身赴任を選択されやすく、高度人材の確保が難しい。公共交通の利便性を高めていかなければ、運転免許の返納が難しい。持続可能な地域づくりのため市民がより積極的にまちづくりに参加する仕組みが必要。

■実装を目指す主な事業内容

事業1：知力・体力・人間力を育む「世界一の子育て・教育のまち延岡」事業

活用技術	事業概要
AI ビッグデータ	<ul style="list-style-type: none"> 「延岡こども未来創造機構」を設立し、学びの「ログ」化等により児童生徒一人ひとりの到達度に合った学習ができる環境を整備 児童生徒のバイタルデータから体調の変化や心の不調などを把握し、学校における不登校児童の兆候を把握（医療×教育データ連携）



図1：延岡こども未来創造機構

事業2：行動パターン分析による交通網の最適化事業（マイカー卒業社会の実現）及び「逃げ遅れゼロ」の避難対策構築事業

活用技術	事業概要
AI ビッグデータ 自動運転	<ul style="list-style-type: none"> 行動パターン分析によるバス路線・時刻表・停留所等の最適化。 シェアサイクル、デマンド交通、自動運転等の組合せによる交通ネットワークの構築により、バスでカバーできないニーズに対応



図2：行動パターン取得アプリ

事業3：行動変容・行動誘発に寄与する地域ポイント活用サービス事業

活用技術	事業概要
キャッシュレス	<ul style="list-style-type: none"> 健康に寄与する活動、ボランティア活動、SDGsに貢献する行動、健康づくりに関する活動等に対してポイントを付与しながら、行政の負担を軽減しつつ、市民の力で社会をより良くするためのキャッシュレスプラットフォームを構築



図3：健康長寿ポイントアプリ

ご清聴ありがとうございました。